

館山支部堂々と結成大会かちとる!

津田沼支部に続いて、昨日館山支部結成大会が熱気あふれる大会としてかちとられた。連日の破壊オルグと闘いつつ、すでに支部組合員一〇四名中病気その他による遅れを除く一〇〇名の団結署名を勝ちとった自信の上に、勤務外全員の六〇余名が結集し、新生「勤労千葉」の力強い出発を誓いあった。大会は、一四時三〇分、野中副支部長の司会で、鈴木氏を議長に選出し、開始された。渡辺支部長は「4・17津田沼への武装襲撃は絶対に許さない。3・30以降、全組合員一体となって職場・家庭への破壊介入

を自らの力でうちくだし、本日の結成大会を勝ちとることができた。本日も、八〇〇名もの集団が「オルグ」と称しておしにかけてきていているが、少数意見を暴力でつぶす事を平然とやるようでは、もはやまともな労働組合とは言いがたい。「勤労千葉」の旗を高くかかげて真の労働組合を全員の力でつくり上げていこう」と提起し、満場の拍手で確認された。続いて関川勤労千葉委員長、中江前中央本部副委員長の挨拶の後、活発な討論をへて、全員の決意をうちかためたのである。

八〇〇名の暴力集団を全支部で撃退!

われわれの前進を、なにがなんでも妨害せんと「本部」・暴力集団は、昨日も八〇〇名といままでで最大の人数をかき集め、新小岩、幕張、蘇我、佐倉、成田、銚子の各支部への侵入をはかり、とくに幕張、成田の両支部においては竹竿などで武装した一〇〇名をこえる武装部隊を先頭に暴力的破壊を行なった。さらに、竹竿、ヘルメットなどで武装した一〇〇名の革マル学生も動員して、武装部隊を錦糸町一千葉駅間をうろつかせていたのである。各支部は敢然とこれを撃退し、またしても「本部オルグ」は大失敗に終わった。この成果の上に、本日の各支部における組合費徴収を妨害し、あわよくばこの組合費を強奪しようとしている「本部」・暴力集団の介入策動を断固粉碎し、「団結署名」貫徹、「結成大会」成功を勝ちとっていかう!

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

暴力「オルグ」団は帰れ! 破壊大会・結成署名・組合費強奪を狙う

幕張支部 二時二五分青竹を持たせた武装部隊を先頭に二五〇名で現われ、へっぴり腰で「突撃」を図ったもののマリ青行隊の強固な阻止線に阻まれ、強烈な一撃が加えられるや一瞬にしてグチャグチャになり、ほうほうの体で逃げだす。腹いせに、無人の一階詰所内を荒しまわり、落書きをし、国労組合員からも非難がまきおこっている。

蘇我支部 には一二時五〇分、六〇名で現われたが、宇佐美支部長先頭に全支部員の鋭い追及をうけて、なすすべもなく退散。

成田支部 一二時四〇分、六〇本の青竹を持たせた「ゲバ部隊」を先頭に一六〇名で現われるが、「一階間の青行隊を先頭とする堅固な阻止線に二階に上れず、区当局に警察機動隊による弾圧まで要請する始末。この「ゲバ部隊」には、4・17津田沼支部襲撃の下手人徳永、清水などが確認され、支部組合員の怒りを一層かきたてた。マイク合戦にも敗れ、すべてが徒勞に終り、「オルグ団」は消耗にうちひしがれながら一時間後にスゴスゴと引き上げた。

銚子支部 には一三時一〇分、五〇名で現われたが、

なんの成果も上げることができぬまま一時間半後に引き上げた。

佐倉支部 には、一二時一五分、七〇名が到着。支部は4・17襲撃への怒りをこめて拒否。「オルグ団」は庭のさつきをぶらぶら見物しただけで「こんなことをくりかえしてもしょうがない」とぼやきながら引き上げた。

新小岩支部 八〇名で一時三六分に到着。支部は四〇名でこれと対峙し、4・17襲撃を怒りをこめて徹底追及した。「オルグ」は完全に失敗し、腹いせに庫前に建てられていた青年部の立看板などを壊すなどの乱暴を働く。いま支部では、田さん(五四才)の「本部は、組合というより、暴力団で結成されているかぎり、私達はこのような組合についていけるわけがない」(機関紙「しんこいわ」4/15付号外)との声に見られるように「本部オルグ団」の実態を目のあたりにしてますます憎悪をたかめ、勤労千葉の正義性に確信を深め、新支部結成へと決意を一層うちかためた。